

熊本市議会

[社民・民主・人
市民連合]

みなさん、こんにちは 市議会だよりです

2011年冬号

(通算 No.175)

(発行)社民・民主・人
市民連合

市議会だより編集部
http://www.kumamoto-shiminrengo.com

第4回 定例会

国の緊急経済対策^[きめ細かな 光をそそぐ]交付金を活用 75億円余を増額し、予算総額5,117億3,344万円

第4回定例会は、11月30日から18日間の日程で開催され102議案を審議。97議案を可決・同意し、請願4件は否決、また市道認定議案1件を継続審査とし12月17日閉会しました。予算案件では、9議案(国の「緊急総合経済対策補正予算(11/26成立)」に伴う経済対策関連の補正予算を含む)を審議し、一般・特別・企業会計の合計で、75億1,181万円の増額補正を可決、予算以外では、条例18件、その他62件、人事4件、意見書4件、決議1件、請願4件でした。

即効性ある地域経済・雇用対策を論議

- 幸山市長3選後、初の議会となった12月議会。幸山市長は、11月30日の提案理由説明の冒頭に、「第31代市長として、掲げた130項目の公約実現に向け、「挑戦元年アクションプラン」を作成し、くまもと再デザインと選ばれる都市づくりに全庁あげて取り組む」と決意を述べました。
- 今回の補正予算は総額75億円余り。本議会の通常補正「53億2,823万円」に加え、会期中の12月15日には、11月26日臨時国会で成立した「円高・テフレ対応のための緊急総合経済対策補正予算」に対応した「21億8,357万円」の補正予算が追加提案されました。
- 53億円余の通常補正では、生活保護世帯の増加による「生活保護費約32億円」の追加予算や、政令市移行に向けた「区役所整備経費約14億円」、また「来春の新幹線全線開業に

に向けた各種イベント経費」などが計上されました。

●また、21億円余の経済対策関連補正予算は、増額された国庫補助事業に加え、地域活性化交付金(きめ細かな交付金・住民生活に光をそそぐ交付金)などを財源に、①雇用・地域経済活性化、②安全・安心対策、③弱者対策、④知の地域づくりの4分野で49事業を実施するものです。厳しい状況下にある本市財政で、平成23年度事業を前倒し実施するもの、さらには「選択と集中」の中で対応が遅れている事業への配分が行われました。

★12月補正予算の主な事業は次のとおりです。

通常補正(53億2,823万円)

◇区役所整備経費(約13億9,970万円/西部6億2,270万円、東部7億7,700万円)、◇生活保護費(31億9,000万円)、◇介護療養型医療施設の転換整備費助成(2億4,860万円/医療⇨老人保健施設へ)、◇新型インフルエンザ対策経費(1億4,374万円/65歳以上・生活保護世帯等への全額助成)、◇日本脳炎予防接種経費(1億800万円)、◇児童養護施設等の改修・備品購入費助成(1,103万円)、◇公立児童施設等の環境整備経費(1,542万円)、◇母子家庭自立支援給付金(7,569万円)、◇くまもと城下まつり開催経費(1,140万円)、◇桜の馬場「城彩苑」オープンイベントと大型バス乗降場整備等経費(2,479万円)、◇新「一口城主」基金積立金(3,418万円)

経済対策追加補正(21億8,357万円)

1. 雇用・地域経済活性化関連(17億2,609万円)
◇道路・橋梁整備事業(2億1,286万円)、◇単独道路整備事業(3億円)、◇単独公園整備事業(8,000万円)、◇河川改修事業(9,000万円) ◇連続立体交差促進経費(9,891万円)、◇公共施設改修経費(3億7,490万円)、◇学校施

明けましておめでとうございます



私たち「社民・民主・人(ヒューマン)市民連合」は、今年も皆さんの声を市政に生かしていくために全力を挙げて取り組んで参ります。

- 設耐震化事業(3億円)、◇学校施設地上デジタルテレビ購入経費(3,480万円)、◇農林業経営体育成交付金事業(3,454万円)、◇商店街活性化対策事業(2,000万円/新幹線開業記念プレミアム商品券発行助成)、◇臨時職員雇用経費(2,290万円)、◇介護人材緊急要請事業(250万円)
- 2. 安全・安心対策関連(2億6,770万円)
◇子宮頸がん等ワクチン接種事業(2億2,000万円)、◇学校焼却炉撤去費用(3,800万円)、◇洪水ハザードマップ作製経費(700万円)、◇HTLV-1抗体検査助成経費(150万円)
- 3. 弱者対策関連(517万円)
◇DV対策経費(130万円)、◇スクールソーシャルワーカー配置事業(177万円)
- 4. 知の地域づくり関連(1億8,460万円)
◇図書充実経費(1億5,100万円/くまもと森都心プラザ・市立図書館等79,000冊)、◇リテルライト記念館等の改修経費(2,360万円)、◇環境総合研究所の分析機器整備経費(600万円)、◇無形文化財継承事業費の助成(400万円)

一般質問

12月議会では、中松健児議員、東すみよ議員が登壇し、政令市移行をはじめ、子育て・教育・福祉・環境分野などの本市諸課題に対し、政策提案を交え鋭く質問を行いました。

採択された意見書

- 環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)交渉参加への慎重な対応を求める意見書
- 熊本市の政令指定都市の実現に関する意見書
- 脳脊髄液減少症の診断・治療の確立を求める

意見書

- 第3次男女共同参画基本計画の答申「夫婦別姓の民法改正」などの見直しと、再度の国民意見公募の実施を求める意見書(市民連合は反対)



中心市街地や商店街は通行量が減少している中で、地域活性化の補正予算が追加されました

常任委員会(各分科会)報告

総務分科会 佐々木 俊和 東 すみよ

■一口城主おもてなし事業については、新幹線開業に合わせた一口城主限定イベントであるが、来賓にだけのようなイベントの内容充実はもとより、タイムリーな情報発信や魅力あふれる仕掛けを継続的に行ってほしい。
■区役所整備については、各区役所が保健福祉センター機能を備える反面、既存センターの機能が縮小されるので、政令市移行後に、住民サービスが低下しないよう検討してほしいなど、意見要望が述べられた。
■委員会では、報告事項として来年度と政令市移行時に組織機構の改編についての説明があったが、2月定例会までに人員配置や具体的な事務分掌について示すよう要請した。

教育市民委員会 中松 健児 東 美千子

熊本市自転車駐車場条例が一部改正され、3カ所追加されます。熊本市庁舎北側と熊本駅北高架下、及び南高架下に設置されます。また、「熊本市自転車利用環境整備基本計画」の中間報告がありました。市役所から半径5kmの地域に、車道と歩道の間に自転車専用レーンが設置される計画です。自転車利用環境の整備は喫緊の課題となっています。23年4月から地域コミュニティセンターが、月出・城西・古町・白坪・長嶺小学校区の5カ所に開設され57施設となります。「熊本市教育振興基本計画(素案)」の報告がありました。当分科会、常任委員会に付託されました議案につきましては、全員異議なく可決されました。

保健福祉分科会 田辺 正信 田尻 将博

予算関係は生活保護費31億9千万円の増額補正、本市の生活保護世帯の状況は10月現在9,903世帯、昨年比658世帯増、5年前の18年度から2,571世帯増となっている。また小額福祉貸付の社会福祉協議会福祉金庫貸付金5百万円の追加増額補正も、生活困窮者対策補正と併せて、その他障害者就労訓練設備等整備費助成金996万円、介護療養型医療施設転換整備費助成金2億4,860万円が各施設への補助内示を受けた。更に接種者増加に伴い日本脳炎予防接種経費1億800万円、新型インフルエンザ対策費1億4,374万円、65歳以上の方々に対する経費等を協議し賛成多数で可決した。

環境水道委員会 村上 博

環境水道委員会に付託された議案第351号「指定管理者の指定について」は、入札金額の得点が総合評価の点数に多く反映されており、その結果、人件費の抑制、低賃金や非正規雇用を招く。そのため、指定管理業務の実施にあたっては、適正な労働環境が確保されているのか実態調査が必要との指摘。
また、指定管理者が新たに更新されて選定されると、それまで従事していた従事者が指定期間の限定雇用となるなど、不安定雇用を招く結果となることを危惧する、との指摘。また、指定管理者の変更が市民サービスを損なわないように適正な職員配置を望む旨の指摘、要望があり、採決の結果、賛成多数で可決。

経済分科会 上村 恵一 上田 芳裕

経済分科会では、「国庫補助内示への対応」、「新幹線開業関連」、「緊急経済対策関連」の3本柱で議論。特に、3月12日新幹線開業に合わせ、3月5日オープンする桜の馬場「城彩苑」のイベント開催と、不足する大型バス乗降場の確保として、合同庁舎敷地を賃借・整備するために約2,500万円が計上されました。計画では新幹線開業から春の城下まつりを有機的につなげ、来熊者・市民へインパクトある3大祭りを開催することです。いよいよ待ちに待った新幹線!緊急経済対策として「商店街プレミアム付商品券」助成(2,000万円)も確認しました。賑わいと活気ある熊本へ、そして政令市へスタートを切ります。

都市整備委員会 家入 安弘

当委員会に付託を受けた36件について、審査を行いました。特に、政令市移行に伴い、市道の認定議案が今後増加するものと思われることから、執行部においては事前に十分説明を行い、より分かりやすい資料を準備し、意思疎通に努めてほしいなどの要望が出されました。なお、市道の認定基準と、市民向けのチラシの記載内容が適合性を欠く部分があるので、内容の見直しを求めました。また現在の認定基準は、実情に合致していないので、実情に即した認定基準となるよう、見直しの検討を、といった意見・要望が述べられました。市道認定議案1件を除き、36件は可決しました。

民主

PRESS MINSHU

2010年10月10日

号外

(熊本市 支部版)

民主党広報・宣伝委員会

〒100-0014

東京都千代田区永田町1-11-1

電話03-3595-9988(代表)

http://www.dpj.or.jp

CONTENTS

- 平成22年 熊本市議会 第3回定例会報告
- ごあいさつ
- 議員として取り組んだこと
- 会派「市民連合」で取り組んだこと
- コラム「手取本町一の」

熊本市議会議員

田尻将博から あなたへ

謹賀新年



仲間の知恵と行動力を引き出す「協働」こそが「文殊の知恵」ですね。

新たなスタート2011年「三人よれば文殊の知恵」に学んで

新年を迎えるためには、「師走」を越えなければなりません。師走には「一年の最後になし終える」との説があり、師走は正月を迎えるための最大の節目で、日本文化の原点であります。特に各地域に存在する神社などは、数百年前から地域の方で維持管理され、今なお地域の歴史と文化の原点を伝えています。その社殿や神木に一年に一回の衣替えの締縄張り、新春を迎え、行く年への感謝と、来る年への祈願成就をおこないます。

今も昔も変わりませんが、地域文化の継承や協働社会の絆など、地域力を高め

る時期が来たようです。

さて、今年の干支は「卯」、私は年男で還暦を迎えることになりました。

10数年前、比叡山延暦寺に参拝し、楼門に文殊菩薩がまつられ、干支で卯年生まれ守護本尊と聞き、卯年生まれ私にとって強い味方になりました。

「三人よれば文殊の知恵」というように、私たちにとって社会や団体生活に必要な諺です。三人の知恵、すなわち協働精神こそ文殊の知恵だと教えてください。

それは仲間の知恵を引出し仲良く仕事をすることです。残念なことに、民主党

にとって苦しい一年でありました。鳩山・菅・小沢のトロイカ体制は「三人よれば文殊の知恵」で最大限の力を引出し、政権交代を成し遂げました。

しかし、文殊の力もバラバラに衰え最悪の支持率となっています。地方ではどこにいても民主党への風は逆風、民主党本部様「三人よれば文殊の知恵」にもう一回あやかしてほしいものです。

4月には6期目の市議選を迎えます。「還暦選挙」で必勝を期して頑張ります。民主党を地域から変えるお手伝いをお願いいたします。

議員として取り組んだことと実績 「小さな声ください」から国・県・市事業まで

5期20年を市議会議員・政党役員・地域各種団体世話役として、走り続けてきました。

今回はこの5期目4年間の活動を振り返り、6期目への継続と新たな活動目標としていきます。

①市議会議員として、年4回の定例議会の議会報告を「市議会だより」としての発行です。この市議会だよりが今期16号目(通算80号)となります。

市議会だよりは、議会で議論された内容と結果を会派共通課題として1面に記載し、2面は「民主号外・田尻将博からあなたへ」として、近々の私の主張や党・地域活動を記載し報告しています。配布箇所は地域を中心に手配り4,000部、郵送2,300部、そして各職場へ1,200部の7,500部を配布しています。報告書には記載できませんが、様々な市政相談や人生相談を受け、解決に向け努力しています。さらに議員活動の柱として、地域各種団体の運営を預かり、

町づくりや文化継承、防犯、健康づくり、青少年の育成活動など、様々な活動に取り組み、今後もライフワークとして続けなければなりません。

②党幹事長12年間、国政や大型選挙に従事し、貴重な経験をしました。特に平成19年、保守王国熊本選挙区での松野信夫参議院議員誕生は、政権交代への第一歩となり、平成21年衆議院選挙は、1区2区が選挙区勝利、3区5区が比例当選、政権交代へと繋がりました。その結果、国政与党として衆参推薦を含め5人(現4人)の国会議員を有し、与党としての活動が始まりました。昨年は土地改良などの予算の減額や、土地基盤整備事業認定先送り、また予算不足で進捗しない白川左岸堤防高上事業など、再要望を受け、福嶋代議士と共に予算復活や事業認定など、積極的に取り組み再スタートが出来ました。

今後も地域の生活に関わる国県市の課題についても積極的に取り組んで行きたいと思っております。

5期19年8カ月の取り組みを報告します

会派「市民連合」で取り組んだこと 「熊本市政策及び予算」を市長に要望

私が所属する「市民連合」は、民主・社民・ヒューマンの三派による連合会派で、毎年、市長に対し、新年度事業や予算確保のための要望活動を行っています。

要望書は「総務」「教育市民」「保健福祉」「環境水道」「経済」「都市整備」の各委員会ごとに項目を整理し、地域の課題から県・国への要望まで幅広く展開しています。

詳細については「市民連合ホームページ」をご参照下さい。

さらに重要懸案事項については、会派内でプロジェクトをつくり、内容を詰め、逆に「市民の立場」から執行部へ提言を行っています。今期



▲毎年秋に「市政策と予算の要望書」を市長に提出している(昨年10月6日)

は「市立産院」「児童相談所」「交通局」「中心市街地再開発」「特別支援教育」などを取り組みました。

今後も政令市に向かう本市の政策や事業を議論しながら、会派政策など、スピード感を持って対応していきます。

後援会事務所開き

高橋稲荷神社初午祭の日
2011年2月8日(火) 午前11時
場所は高橋西神社

いよいよ本番、4年に一度のイベントは宮総代を務める「高橋稲荷神社初午祭」当日に開催することになりました。ぜひご出席いただきますようご案内申し上げます。

当日は三和中、高橋小、城山小のグラウンドが臨時駐車場となります。稲荷様へのご参拝もよろしくお願いいたします。

ご案内



※駐車場が狭いためご迷惑をおかけしますが公共交通機関等をご利用願います。



市政に関するご意見やご相談、また地域のご要望などはお気軽にどうぞ!

熊本市議会議員 田尻 将博

〒860-0061 熊本市上高橋2丁目8番16号

TEL329-4339 FAX329-4778

http://www.masahiro-chan.jp

E-mail:masahiro-tajiri@tkz.bbq.jp

れるなんてウサギも可哀想だった。◆日本では古くから月の中でもちをつくといい伝承が中国の話の変形としてあるし、手を揃えてうずくまった姿を神前の祈願者に連想し神聖視してきた。◆兎にまつわる諺は「株を守りて兎を待つ」(古い慣習にこだわり臨機応変の処置がとれない)「兎の罠に狐がかかる」(思いがけない幸運に恵まれる)◆ウサギの走りやジャンプはすごい。今年にウサギに学んで大いに走ったりジャンプしたいものだが、油断すれば亀に追い越される。気を引き締めて今年も一日一日を大事にして生きていこう。



◆今年の干支は「兎」。ウサギは重歯目、ウサギ科でウサギ属の哺乳動物。この属にはアナウサギとノウサギがあるが、両者は非常に縁が遠く双方の間に子供はできない。イエウサギはアナウサギを家畜化したもので、今から千年前のころと。日本の古い時代のウサギの記事は、すべてノウサギに関するもので、イエウサギが日本に入ってきたのは明治の始め。日清、日露戦争の時、肉や毛皮が軍需品として用いられ、日華事変が始まると飼育が奨励された。戦争のために飼育さ

手取本町一の